

山形市

介護は「かっこいい」

人材確保へ魅力発信

山形市と市内特別養護老人ホーム施設長連
 絡会は、厚生労働省の「小規模法人のネット
 ワーク化による協働推
 進事業」を活用して介
 護人材の確保・定着に
 取り組んでいる。昨年
 度は介護職員の内面か
 らにじみ出る「かっこ
 よさ」を写真や動画で
 表現する「KAIGO
 PRIDE」などに

取り組み、介護のイメ
 ージアップを図った。
 「KAIGO PR
 IDE」は2019年
 に熊本県で始まった介
 護の魅力発信プロジェクトで、大手企業のC
 Mなどを手掛けるクリ
 エイティブディレクタ
 ーのマンジヨット・ペ
 ディ氏が撮影する。
 モデルの介護職員は
 20〜40代の男女10人が

公募で選ばれ、昨年10
 月に撮影した。動画は
 テレビCMで放映さ
 れ、現在ユーチューブ
 で配信されている。写
 真はモノクロで、介護
 の仕事に対する「誇り」
 を醸し出している。写
 真下には「死ぬならあ
 なたが居る時が良い。」
 と言って頂いた「など、
 一人ひとり介護職員が
 撮影時に語った思いも
 添えられている。
 3月（市役所）と5
 月（JR山形駅の自由
 通路）に催された写真
 展示では、斬新なデザ
 インに引きつけられ、
 足を止める人が多かつ
 たという。連絡会事業
 担当の手塚敬一郎氏は
 「これまでの『やさし
 さや笑顔の介護』だけ
 ではないイメージとの
 ギャップが良かったの
 かもしれない。介護の
 マイナスイメージを払
 拭できれば」と話す。
 11日には「KAIG
 の就職面談会を開くこ
 とができた。
 市では2025年度
 までに1600人の介
 護職員が必要とされ、
 介護の魅力発信の取り
 組みは第8期介護保険
 事業計画（21〜23年度）
 に位置付けられている。
 手塚氏は「効果は
 すぐ出ないが、全特養
 が一丸となつて取り組
 む土壌ができてきた」
 と前を向く。今秋に2
 度目の「KAIGO
 PRIDE」の撮影を
 し、来年3月にはKA
 iGOの魅力発信フェ
 スティバルを開く予定
 だ。
 （榎戸新）



「KAIGO PRIDE」の動画

福祉

8A30日